

地域と連携した教育活動の取組は？

これまでも「キャリア教育」を推進する様々な関係機関と学校との連携で、素晴らしい取組の実績があります。

学校では各教科や総合的な学習の時間等で、町探検、社会科見学、職場訪問、職場体験などの体験活動が行われてきました。関係機関の働きかけで、より本物に触れる授業や体験が可能になっています。

平成17～22年度 NPOひととくらしとまち大館ネットワーク

- ◆ H17～19年度
「おおだて子ども未来づくりプロジェクト」(経済産業省事業)
小5～中2年生 9校 1,542名がきりたんぼ等の商品開発や経済を学び、実際に生産販売を行いました。
- ◆ H20～21年度 職業人インタビュー
中3の修学旅行(東京)の企業訪問の際に「働く人」へのインタビューができるよう企業とコーディネートしました。
- ◆ H20～22年度 「大館ときめきサイエンスプロジェクト」(経済産業省事業)
地域の企業人が講師になり、学校ではできない実験を中心にした理科授業を行いました。
(※平成19年度10社7校451名 平成20年度8社9校352名 平成21年度15社19校864名 平成22年度20社30校1411名)
- ◆ H22年度 「キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業」(経済産業省事業)
キャリア教育を推進する上で重要な役割を果たす民間コーディネーターを育成するための講義を行い、手法等について調査開発し、民間資格制度の創設に参画しました。(2名受講)



ゲーム機を分解、地元企業によるごでんリサイクルの授業



わくわくジョブツアー
記者の目で様々な仕事を取材



出前授業・田代地区にあるロケットエンジン燃焼実験場と宇宙のつながりを三菱重工のエンジニアが説明

おおだて発人間力創造コンソーシアム 平成21年度～

働くこと、生きることを見つめなおし、ふるさとを元気づけるための取組が行われています。

- ◆ 運営委員会 委員長：NPOひととくらしとまち大館ネットワーク事務局長
委員：大館商工会議所、企業(北秋商事(株)、ニプロ(株)、(株)伊徳)
小中高等学校長、専門学校長、職能短大校長、大学学長、県教育庁、市教委、県産業労働部、市総務部、新聞社
事務局：秋田職業能力開発短期大学校
- ◆ 活動内容：産業教育展の主催(展示・こども仕事体験コーナー等)
わくわくジョブツアーの主催(小学生の新聞記者体験及び企業取材)
職場体験等に関する企業アンケート調査(53社回答)
キャリア・パスポートの構想



地域や企業が積極的に子どもたちへ、地元産業の魅力や大館の優れた特産物や伝統工芸品、文化的遺産を伝えていくことは、将来的に子どもたちが大館に根ざし、大館の経済を支えていこうとする意欲につながります。大館の活気あふれる未来への基盤作りを、地域全体で後押しする体制を築きます。

大館曲げわっぱ協同組合 平成21年度～

小学生が作成した曲げわっぱに、イラストや名前等を焼き入れするレーザー加工を施すなど伝統工芸に対する意識啓発やものづくりへの興味・関心を高めています。

(児童・生徒に対する伝統工芸品教育事業：秋田県)

平成21年度 計 9校293名
平成22年度 計 10校298名